

が如き部隊は
脚之間にB 24
墜落しわが隊
襲一度移けは必ず敵を勝るとの腹のす
く手練を過鋭なく発掘した。これは其地に
敵を襲撃し敵の手の指を握りてある

入したのである。更、岡中遺機は「新たに北上中のB24あり」の
 敵機が群を飛見」といづを主眼
 に「上層つ」が無敵がない、早
 速に迎に飛生し心算のしなげら臨
 投したのすまる、その時、基地では
 「新たに北上中のB24あり」の
 敵機が群を飛見」といづを主眼
 に「上層つ」が無敵がない、早
 速に迎に飛生し心算のしなげら臨
 投したのすまる、その時、基地では

新型爆彈を投下

廣島市少數機で相當被害

大木陸軍（昭和廿年八月七日十五時卅分）一、昨八月六日廣島市は敵B29少數機の攻撃に依り相當の被害を生じたり、二、敵は右攻撃に新型爆弾を使用せるものの如きも詳細目下調査中なり

着地前空中炸裂

落下傘附爆彈に嚴戒

落下傘附爆弾に嚴戒

六日八時過ぎ、敵B20少數機は、敵首を生じた。この新型爆弾は落下傘付のもので、着陸面中で炸裂し、その威力については目下調査中であるが、敵機を許さぬものがある。敵はこの新型爆弾の使用に、余の折衝策としてかゝる非人道兵の使役を開始するに、至つたものである。これによつて、敵機は、深來永成「人禍正義の破壊者」「社会正義の破壊者」「たの威へぬ常はを拘れたものであり、わ

数の豪族は倒壊した。市内各
 よつてわが無學の民衆を殺戮せん
 とする米国民の獨斷性を自ら世界
 に叩つて公示したものである。敵
 がかく入道主義の返頭をかなぐり
 捨て自衛的な新兵隊の使用を開始
 するに至つた最大の理由は、艦隊
 の現状に角難した結果に他ならな
 い。中東戦争の苦闘は海軍の徹底
 にあり、敵はガダルカナル島反抗
 以來わが追迫作戦に追隨して比較
 的順調に追襲して來たが、戰勢が
 わが本土に接近するに従ひ露露島
 さらには沖縄本島における攻防戦の
 如く、わが不備不慮の暴露の前に

世界ノ平和ニ寄与スルハ
ノ作述セル遠慮ニシテ朕
トノ交誼ヲ幾クシ萬邦共
力協ニ睦交ノ図發ト爲ス
ト下費端ヲ闕クニ至ル程

敵の企圖する即體即決の勢は次第に破綻するに至つた、殊に本士決戦の段階に至り所謂本國産業の破壊・立憲の日本の攻用戦略を破砕して太平洋戦争を以て終結せしめるの企圖を失はれたつた、敵は獨

敵は本國の使用と共に強大な宣傳を開始したわが国は戦艦の擡亂を拒否し謀略攻戰一擧にしてをり今後とも新兵等による日本全土襲撃日本人の懸念が望都港施設の全面的破壊など國際宣傳を有と

同事件自業だつた、午後更に「果
の確證に凭れた中蔵、腰井の面鏡
は浮上一面に覆がつた成油の由に
腐蝕からの浮流噴が夥しくなだよ
つてゐたのを確證した」あれを
つてくれさのを確ち安心したよ、
落し物を照りてくれた時のやうな
気持ちだつたと田中中蔵は微笑む
のだった

豊川市に爆弾攻撃

日九日、小幡龍太郎、藤花主とす
 多岐原連合白機が、南半島沿岸付
 近から侵入、四川付近に爆弾攻撃の
 後退去したことが、ため四川市に若
 平の攻撃があつた模様である

近江人、小幡、八王子、横父、現金を盗て十一時五十分九十九
 町、伊勢、龍林、土浦、成田、近より退去した

京濱に四四十機

小幡英國機も多

京濱に島四十機

小續英國機も參加

一 田中が侵入 上 29-1
 B 29-1 機 運送された 随時搬出
 機は七日十二時より分こう下田付 地の P 51 砲台に搬は七日十時入、主として京浜西側力を行調へ



東印

【昭。七日新聞】南方軍は昨年九月七日中外に聲明された帝國の東印度民族獨立容認の公約に基き可及の速に獨立を實現すべく爾來民衆の自覺に基き、出生地祖國の特別認容表は、旗歌の使用許可表は新國民軍訓の傳閱、諸國書を採擇しひたすら神聖感に備へる一方獨立準備調査を踏置して獨立國家の基本的性格につき議會の決議を迫るものと獨立に向つて民衆の指導に努め來つた。また民衆もよくわが方の國境を離れし一軍國を擁護し、郷土防衛と共闘同死の決意に燃えて防備、軍力増強に政治にあらゆる獨立運動は毫々懸念するに至つた。かくてわが方また民衆の認識に答へ可及の速に獨立を許可することとなり、獨立政權樹立の最後的準備を促進したため